

(端裏書)

「御順見衆へ書上仕竹嶋ノ控」

- 一 隠岐国嶋後福浦より磯竹嶋江「破損」
余茂可有御座御事
- 一 右之島之廻り拾里余可有御座「破損」
- 一 右之島ニ而ミニ之魚油并串鮑之「破損」
御事

一 右之島ニ竹木茂（見消）御座候御「破損」

一 右之島之道筋ニ武拾町計廻り申小「破損」
此島ニ而茂ミニ之魚油少宛所「破損」

此島ニハ草木茂無御座岩山ニ而「破損」

隱岐国嶋後福浦より海上六拾「破損」

可有御座御事

伯州米「破損」
村「破損」

西五月十三日

大「破損」

ひかへ

1—19—2

(端裏書)

「延宝九年西ノ歳ニ御順見様御宿申上候覚
竹嶋之様子御尋被成候ニ付此一通書申候」

- 一大猷院様御代五十年以前阿部四郎五郎様御
取持を以竹嶋押領仕其上親共より御
目見江迄被為仰付難有奉存候御事
- 一彼島江年々船渡海ミニ之魚之油并串鮑之
所務仕申候御事

- 一竹嶋江隱岐国嶋後福浦より海路百里余も
可有御座由、海上之儀ニ御座候ヘハ慥ニハ知レ不申候御事
- 一竹嶋之廻り拾里余御座候御事

一

嚴有院様御代竹嶋之道筋ニ武十町計廻り

申小島御座候、草木茂無御座岩山ニ而御座候

廿四五年以前阿部四郎五郎様御取持を以拝領船

渡海仕候、此小島ニ而茂ミチ之魚之油少宛所務

仕候、右之小島江隱岐国嶋後福浦より海上六十里

余茂御座候御事

五月十三日